



## 連結行政コスト計算書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	2,762,885,985
業務費用	2,203,597,264
人件費	670,541,753
職員給与費	586,147,920
賞与等引当金繰入額	39,510,014
退職手当引当金繰入額	7,477,201
その他	37,406,618
物件費等	1,486,801,575
物件費	475,694,748
維持補修費	95,196,983
減価償却費	873,777,598
その他	42,132,246
その他の業務費用	46,253,936
支払利息	7,028,181
徴収不能引当金繰入額	5,372
その他	39,220,383
移転費用	559,288,721
補助金等	404,476,129
社会保障給付	154,063,807
その他	748,785
経常収益	421,400,509
使用料及び手数料	202,695,616
その他	218,704,893
純経常行政コスト	2,341,485,476
臨時損失	51,073,511
災害復旧事業費	47,312,475
資産除売却損	285
損失補償等引当金繰入額	-
その他	3,760,751
臨時利益	3,906,988
資産売却益	148,919
その他	3,758,069
純行政コスト	2,388,651,999

## 連結純資産変動計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産等形成分		他団体出資等分
		固定資産	余剰分(不足分)	
前年度末純資産残高	17,529,161,396	19,849,377,363	△2,320,215,967	-
純行政コスト(△)	△2,388,651,999		△2,388,651,999	-
財源	1,722,037,648		1,722,037,648	-
税金等	1,175,472,697		1,175,472,697	-
国県等補助金	546,564,951		546,564,951	-
本年度差額	△666,614,351		△666,614,351	-
固定資産等の変動(内部変動)		省 略		
有形固定資産等の増加				
有形固定資産等の減少				
貸付金・基金等の増加				
貸付金・基金等の減少				
資産評価差額	-			
無償所管換等	-			
他団体出資等分の増加	-			
他団体出資等分の減少	-			
比例連結割合変更に伴う差額	△3,448,736			
その他	-			
本年度純資産変動額	△670,063,087	△536,203,131	△133,859,956	-
本年度末純資産残高	16,859,098,309	19,313,174,232	△2,454,075,923	-

## 連結附属明細書

## 1. 連結貸借対照表の内容に関する明細

## (1) 資産項目の明細

## ① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A) + (B) - (C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	本年度末 減損損失累計額 (G)	本年度減損額 (H)	差引本年度末残高 (D) - (E) - (G) (I)
事業用資産	10,393,109,772	54,889,968	146,391,876	10,301,607,864	5,510,364,331	184,202,078	-	-	4,791,243,533
土地	403,805,865	-	-	403,805,865	-	-	-	-	403,805,865
立木竹	1,999,364,600	-	-	1,999,364,600	-	-	-	-	1,999,364,600
建物	7,748,924,067	44,871,019	146,282,853	7,647,512,233	5,333,401,265	179,302,798	-	-	2,314,110,968
工作物	241,015,240	9,864,139	109,023	250,770,356	176,963,066	4,899,280	-	-	73,807,290
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	154,810	-	154,810	-	-	-	-	154,810
インフラ資産	33,921,906,638	90,418,443	-	34,012,325,081	21,863,989,647	646,693,708	-	-	12,148,335,434
土地	7,849,522	-	-	7,849,522	-	-	-	-	7,849,522
建物	104,963,450	-	-	104,963,450	93,412,343	2,704,320	-	-	11,551,107
工作物	33,809,093,666	90,418,443	-	33,899,512,109	21,770,577,304	643,989,388	-	-	12,128,934,805
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-	-
物品	603,818,801	171,089,944	7,401,065	767,507,680	512,481,091	38,097,325	-	-	255,026,589
合計	44,918,835,211	316,398,355	153,792,941	45,081,440,625	27,886,835,069	868,993,111	-	-	17,194,605,556

【連結財務書類 注記事項】

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 出資金の評価基準及び評価方法

① 出資金

市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 貯蔵品……………先入先出法による低価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 15年～50年

工作物 5年～60年

物品 3年～18年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

（ソフトウェアについては、本村における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

③ リース資産

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

……………リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

ただし、一部の連結対象団体においては、主として期末における退職給付債務及び年金資産の見込み額に基づき計上しています。

③ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当、勤勉手当等及びそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体については、税抜方式によっています。

## 2 追加情報

### (1) 連結対象団体（会計）

団体（会計）名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
国民健康保険診療所特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
介護保険特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
後期高齢者医療特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
簡易水道事業特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
奈良県市町村総合事務組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	議会・総務・会館管理事業 2.56 % 非常勤職員公務災害補償事業 1.66 %
上下北山衛生一部事務組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	36.87 %
奈良広域水質検査センター組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	2.05 %
奈良県後期高齢者医療広域連合	一部事務組合・広域連合	比例連結	一般会計 0.30 % 特別会計 0.07 %
南和広域医療企業団	一部事務組合・広域連合	比例連結	2.26 %
奈良県広域消防組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	一般会計 0.38 % 吉野消防事業特別会計 9.60 %
社会福祉法人 上北山村社会福祉協議会	第三セクター等	全部連結	—
一般社団法人 ツーリズムかみきた	第三セクター等	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

- ① 地方公営事業会計は、全て全部連結の対象としています。
- ② 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。  
ただし、奈良県市町村総合事務組合の退職手当事業については、連結財務書類の貸借対照表に本村の持分相当の退職手当に係る基金及び退職手当支給準備金を計上することをもって連結したものとみなしています。
- ③ 第三セクター等は、出資割合等が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。